



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2024年度標準化推進部会業務報告会 国内標準化委員会報告

JAHIS標準類 および国内の動向について

2025年4月18日
国内標準化委員会
田中 利夫

1. 制定されたJAHIS標準類について
2. 国内標準化委員会活動トピックス
3. 国内標準化動向

1. 制定されたJAHIS標準類について

2024年度（2024年4月～2025年3月）に制定された「**JAHIS標準**」および「**JAHIS技術文書**」について概要をご紹介します。

2024年度に制定された JAHIS標準

ID	題名	制定年月
24-001	JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格 Ver.3.0	2024年04月
24-002	JAHIS HPKI対応ICカードガイドライン Ver.3.1	2024年04月
24-003	JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C	2024年07月
24-004	リモートサービス セキュリティガイドライン Ver.4.0	2024年08月
24-005	JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド Ver.5.0 (MDS/SDS)	2024年09月
24-006	JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドライン Ver.5	2024年09月

24-001 JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格 Ver.3.0

医療システム部会 セキュリティ委員会

<概要>

欧州電気通信標準化機構(ETSI)よりJSON形式への電子署名の規格JAdES (JSONformat for Advanced Electronic Signature) が公開されたため、本規格Ver.2.0に追加を行うとともに、最新化に伴い必要な修正も併せて行った。

<目的>

異なるシステム間において、電子署名及びタイムスタンプが付された電子文書の署名検証や証明書検証を確実に行うための電子署名フォーマットの標準規約として、FHIR等で利用されているJSON形式にも対応可能とし、電子署名ソフトウェア、署名検証ソフトウェアなどの互換性の確保を行う。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1080>

24-002 JAHIS HPKI対応ICカードガイドライン Ver.3.1

医療システム部会 セキュリティ委員会
セキュアトークンWG

<概要>

保健医療福祉分野における電子署名及び電子認証を行うに際して利用されるPKIの機能を搭載したICカード及びICカードの利用環境に対する要求事項を定めたものである。

旧版のVer.3.0aに対して、実装例についてRSA2048への対応を追記するとともに、最新のガイドライン等への整合性を確保した。

本ガイドラインは、「JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格」及び「JAHIS HPKI 電子認証ガイドライン」とともに利用されることを前提としており、同規格の下で利用されるICカードの相互運用性の仕様も定めている。

<目的>

電子署名及び電子認証に対応したHPKIの要求仕様を満たし、相互運用性を確保するICカードのガイドラインを策定する。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1077>

24-003 JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C

医療システム部会 部門システム委員会

<概要>

旧版のVer.4.0Cの見直しを行い、以下の規約等との整合をとった。

- ・ JAHISデータ交換規約（共通編）Ver.1.3
- ・ JAHIS放射線データ交換規約 Ver.3.2C他、共通編 Ver.1.3を参照するJAHIS標準類
- ・ HL7 V2.5日本語訳見直し版（2020年6月発行）

<目的>

医療情報システムにおける相互運用性の普及推進及び、最新情報への準拠。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1103>

24-004 リモートサービス セキュリティガイドライン Ver.4.0

医療システム部会 セキュリティ委員会
JAHIS/JIRA合同リモートサービスセキュリティ作成WG

<概要>

旧版のVer.3.1aに対し、最新動向を踏まえ、以下の修正を行った。

- JIS Q 27001:2023(ISO/IEC 27001:2022)及びJIS Q 27002:2024(ISO/IEC 27002:2022)の改定に伴う当該部分の修正
- 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 6.0版」の当該部分への準拠

<目的>

医療機関とベンダ／サービス事業者間をネットワークで結び、医療機器等の保守を安全にかつ効率的に行うためには、リスクを漏れなく把握し、医療機関と事業者双方がセキュリティ対策を講じていかなければならず、リモートサービスを安全に行うための実践的なガイドラインを示す。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1108>

24-005 JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド Ver.5.0 (MDS/SDS)

厚生労働省標準規格認定

医療システム部会 セキュリティ委員会
JAHIS-JIRA合同開示説明書WG

<概要>

厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」第6.0版に対応するために必要箇所を変更した。

<目的>

製造業者/サービス事業者が、標準化された書式を使用することにより、自らが製造する医療情報システムのセキュリティ関連機能に関して、医療機関等から情報提供を要求されたとき迅速に応えることができるようにする。

医療機関等は、標準化された書式の記載により、製造業者/サービス事業者によって提供されるセキュリティ関連情報のレビューを行い易くなる。

※下記URLからは、本文の他に、Q&A集、チェックリスト、ユーザズガイドもダウンロード可能。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1119>

24-006 JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドライン Ver.5

医療システム部会 セキュリティ委員会
電子保存WG

<概要>

厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」が第6.0版として2023年5月に更新され、総務省・経済産業省「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」も第1.1版として2023年7月に更新されたため、3省2ガイドラインの改定内容をJAHIS標準Ver.4に反映し、Ver.5として発行した。

<目的>

医療情報システムのベンダがシステム開発する際の参考規準となりうるガイドラインを示すことで、国内の医療情報システムセキュリティレベルを一定以上に保つ。

また、医療機関が医療情報システムの仕様決定及び選定、または、日々の運用手順を規定する場合の参考資料として利用されることを期待する。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1120>

2024年度に制定された JAHIS技術文書

ID	題名	制定年月
24-101	JAHIS看護データセット適用ガイド 看護行為編 Ver.1.1	2024年04月
24-102	JAHIS院外処方箋2次元シンボル記録条件規約 Ver.1.9	2024年06月 旧版
24-103	JAHIS院外処方箋2次元シンボル記録条件規約 Ver.1.10	2024年09月
24-104	JAHIS電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver.2.6	2024年09月
24-105	JAHIS電子処方箋運用における薬局レセコンと電子薬歴システムの連携仕様書 Ver.1.1	2024年10月

24-101 JAHIS看護データセット適用ガイド 看護行為編 Ver.1.1

医療システム部会 部門システム委員会

<概要>

システムリプレイス及び地域連携における相互運用性向上を目的に、電子カルテシステム等に含まれる看護指示・実施記録情報を対象として作成した『JAHIS看護データセット適用ガイド 看護行為編 Ver.1.0』に、新たに看護指示・実施判断などで必要な情報である「患者状態」の仕様検討・追加し、改版を行った。

<目的>

医療情報システムにおける看護関連情報の共有及びリプレイス時の継承、継承のための作業工数を低減し、看護情報の地域連携及び施設間における情報利活用を促進する。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1074>

24-102 JAHIS院外処方箋2次元シンボル記録条件規約Ver.1.9

24-103 JAHIS院外処方箋2次元シンボル記録条件規約Ver.1.10

医事コンピュータ部会 調剤システム委員会

<Ver.1.9 概要>

1. 令和6年6月診療報酬改定（処方箋様式変更）への対応
2. JAHIS標準類文書のガイドラインに則した図表番号およびタイトル記載の修正

<Ver.1.10 概要>

1. 令和6年10月長期収載品の選定療養への対応
2. JAHIS標準類テンプレートの適用

<目的>

診療報酬改定等に対応する。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1123> (Ver.1.10)

24-104 JAHIS電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver.2.6

医事コンピュータ部会 調剤システム委員会

<概要>

1. 令和6年10月長期収載品の選定療養への対応
2. JAHIS標準類テンプレートの適用

<目的>

長期収載品の選定療養において、電子版お薬手帳データフォーマットの記録方法について注釈を追記する。

※ なお、本仕様書は、お薬手帳データを交換するためのデータフォーマットのみを規定しており、電子版お薬手帳の考慮すべき機能や、お薬手帳データを蓄積したりする機器やアプリケーションが満たすべき要件について規定するものではない。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1124>

24-105 JAHIS電子処方箋運用における薬局レセコンと電子薬歴システムの連携仕様書 Ver.1.1

医事コンピュータ部会 調剤システム委員会

<概要>

1. レセプトコンピュータから電子薬歴システムへの連携方法を追加
2. JAHIS標準類テンプレートの適用

<目的>

薬局における電子処方箋運用においては、薬局内のシステム（レセプトコンピュータ、電子薬歴、調剤機器、電子お薬手帳など）間の相互連携が不可欠であるが、薬局内システム間におけるインターフェース仕様は定義されておらず、各ベンダーにて独自インターフェース仕様が構築されることにより薬局内のシステム連携が煩雑になり薬局業務に支障が出る可能性がある。本仕様書は、電子処方箋運用における薬局内システム間の共通的な連携仕様の構築することを目的とする。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=1129>

JAHISについて

活動と報告

部会情報

JAHIS標準

教育・セミナー事業

会員向けページ

[トップ](#) > [JAHIS標準](#) > 制定済標準

▼ JAHIS標準

▼ JAHIS技術文書

▼ OID一覧

▼ JAHIS標準とは

▼ 制定済標準

▼ パブリックコメント



入会案内



JAHIS標準

JAHISで作成し、制定した標準を紹介しております。

※注意事項

- ・ 網掛されたものは既に改定された標準類ですので、最新版を閲覧してください。
(旧版を参照しているシステムのために、現在も閲覧可能としています。)
- ・ 技術文書の中には技術動向の紹介目的で作成したものも存在します。
各技術文書の制定目的をご理解の上ご利用ください。

JAHIS標準類のカテゴリ分類は [こちら](#) を参照ください

標準類全体図オーバービューチャート [こちら](#) を参照ください



各種届出書式



教育事業



制定済標準類



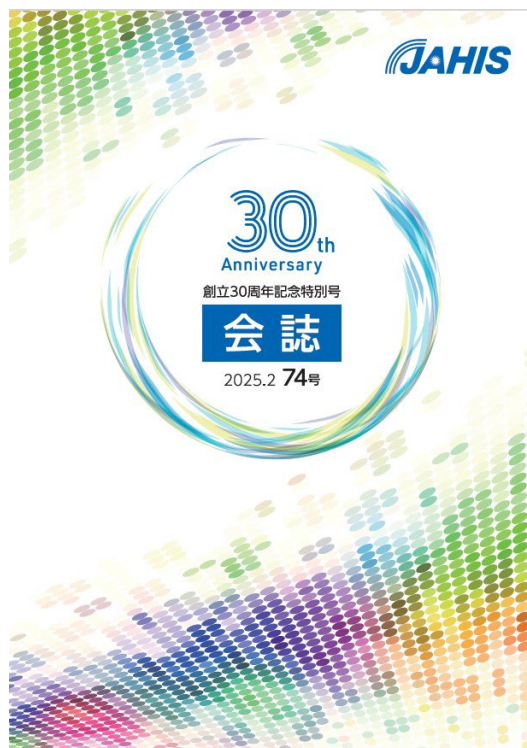
標準類全体図
オーバービューチャート



会誌



JAHIS会誌74号 創立30周年記念号



https://www.jahis.jp/action/id=1152?contents_type=22

2020年4月以降に制定された
JAHIS標準とJAHIS技術文書

CONTENTS JAHIS 30周年記念号 No. 74

目次

はじめに	運営会議議長	岩津 聖二	2
巻頭言	JAHIS会長	長堀 泉	4
就任挨拶	監事	遠藤 憲人	5
JAHISひろば	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長 東京大学大学院医学系研究科 医療AI・デジタルツイン開発学 特任教授	美代 賢吾	6
30周年記念特集①			
30周年に寄せて	厚生労働省 老健局老人保健課長	堀 裕行	12
30周年に寄せて	経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課長	橋本 泰輔	14
30周年に寄せて	デジタル庁 国民向けサービスグループ次長／審議官	三浦 明	15
一般社団法人化への移行と事務所移転の当時を振り返って	元 日本アイ・ビー・エム(株)	佐藤 和喜	16
JAHIS15周年のころー医療の情報化の加速開始とJAHISの対応ー	元 キヤノンメディカルシステムズ(株)	西原 栄太郎	19
我がJAHIS活動の思い出	元 キヤノンメディカルシステムズ(株)	西山 喜重	23
JAHIS創立30周年に向けて	(株)ユニケソフウェアリサーチ	亀田 裕文	27
事業推進部の活動を振り返って	元 日立メディカルコンピュータ(株)	宮田 賢次	29
30周年記念特集②			
JAHISの各部会と委員会等のご紹介			32
新 JAHIS2030ビジョン	戦略企画部 企画委員会 委員長 西村 剛敏		44
1994年から2019年の歴代会長とJAHISの歩み			46
2020年から2023年の事業報告概要			48
2020年4月以降に制定された JAHIS標準と JAHIS技術文書			52

2. 委員会活動トピックス

今年度の国内標準化委員会活動におけるトピックスについて、
ご紹介します。

◆ JAHIS標準類テンプレートおよび申請票類の見直し

JAHIS標準類文書を作成する際に使用する**テンプレート**および、JAHIS標準類審査時に使用する**申請票類**の見直しを行いました。

あわせて、下記の関連するJAHIS規程類の改定案を作成しました。

<2024年度に改定された関連規程類>

JAHIS規程3002号(付録)-1 JAHIS申請票

JAHIS規程3004号 JAHIS標準類の作成および採番等に関する細則

※ 最新のテンプレート・申請票類は、下記よりダウンロードしてご使用いただけます。

[My Page メニュー >](#)

[各種申請フォーマット等 > 標準類テンプレート・申請書](#)

3. 国内標準化動向

国内標準化動向のトピックスについて、ご紹介します。

一般社団法人 医療情報標準化推進協議会（HELICS協議会）には、JAHIS標準化推進部会から下記メンバーが参画しています。

HELICS組織	氏 名（JAHIS内役職）
理事会	田中 利夫（部会担当運営幹事、国内標準化委員会委員長） 光城 元博（副部会長、国内標準化委員会副委員長）
運営会議	田中 利夫（部会担当運営幹事、国内標準化委員会委員長）
標準化委員会	田中 利夫（部会担当運営幹事、国内標準化委員会委員長） 光城 元博（副部会長、国内標準化委員会副委員長）
広報委員会	関 公二（副部会長）

※ JAHISは、HELICS協議会事務局業務も担っています。

HELICS協議会ホームページ

<https://square.umin.ac.jp/helics/html/index.html>

2024年度は、下記3件がHELICS指針として採択されました。

申請受付 番号	提案規格名（〔 〕内は提出団体名）	採択月
HS041	透析情報標準HL7 FHIR記述仕様 〔日本透析医学会〕	2024年8月
HS042	個別医薬品コード（YJコード）リスト 〔医薬品情報標準化推進協議会、くすりの適正使用協議会〕	2024年8月
HS043	トークンを用いたクラウド型情報交換技術仕様 〔日本IHE協会〕	2024年10月

医療情報標準化指針 (HELICS指針) 一覧 @HELICS協議会のサイト

<https://square.umin.ac.jp/helics/html/helicsStdList.html>

2025年1月に、下記4件のHELICS指針が厚生労働省標準規格として認定されました。

ID	規格名
HS040	「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド [日本画像医療システム工業会、 保健医療福祉情報システム工業会]
HS041	透析情報標準HL7 FHIR記述仕様 [日本透析医学会]
HS042	個別医薬品コード（YJコード）リスト [医薬品情報標準化推進協議会、くすりの適正使用協議会]
HS043	トークンを用いたクラウド型情報交換技術仕様 [日本IHE協会]

第24回保健医療情報標準化会議 @厚生労働省のサイト

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000204348_00011.html

JAHISでは国の施策や社会情勢／動向等も踏まえた、将来ビジョンや中期計画、ならびに年度毎の事業計画を策定しています。国内標準化委員会としましても、各部門／委員会等と連携して、それらの実現に寄与するための活動を行ってまいります。

医療DXが推進される中、JAHISの主要なミッションのひとつである標準類の策定および普及には、JAHIS各部門／委員会／WG等で活動されている皆様のご尽力とご協力が不可欠です。

今後とも、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

活動を推進する人材の確保および育成が重要な課題となっています。標準化活動にご興味をお持ちの方には、ぜひともご参画いただきたく、お声がけください。

ご清聴いただきありがとうございました。

